指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	村上市養護老人ホームやまゆり荘	評価対象年度	平成　28　年度
指定管理者名	社会福祉法人　阿賀北福祉会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3年）	評価者（課長）	小田　正浩

①事業実績

利用実績	平成28年度当初入居者数　50名、途中入退所　入所4名、退所6名、年度末入居者数　48名
サービス向上の取り組み	職員倫理・行動規範の周知徹底及び業務マニュアル作成と遵守に努める。 サービスに関する自己評価を内部で実施し、継続的に改善を図るとともに人材育成に注力する。

②管理経費

区分			前々年度（26年度・直営）	前年度（27年度）	当該年度（28年度）	合計	備考
収入	指定管理料			115,638,933	113,767,790	229,406,723	
	利用料金		39,172,887	1,375,410	1,520,190	42,068,487	短期宿泊事業収入（H27, 28）
	自主事業収入					0	
	その他		768,621	53,794	89,336	911,751	
	計		39,941,508	117,068,137	115,377,316	272,386,961	
支出	管理経費		159,222,767	105,792,857	105,528,576	370,544,200	
		（うち人件費）	92,245,067	54,371,691	58,046,153	204,662,911	
		（うち光熱水費）	7,674,392	7,849,233	7,388,125	22,911,750	電気料、上下水道料
		（うち修繕費）	1,315,765	614,937	963,810	2,894,512	事務機器等修繕、建物修繕
		（うち委託料）	10,358,658	16,957,895	15,229,044	42,545,597	給食業務委託他
		（うちその他）	47,628,885	25,999,101	23,901,444	97,529,430	消耗品他
	自主事業費				0	0	
	計		159,222,767	105,792,857	105,528,576	370,544,200	
差引			▲ 119,281,259	11,275,280	9,848,740	▲ 98,157,239	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	（評価理由） 条例、業務仕様書に基づき職員教育を行い、利用者へ応対している。不明な点や気づいた点は市と確認して対処している。入所者の決定は、村上市及び関川村が行っている。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	（評価理由） 内外部の職員研修を実施、参加し職員の資質向上を図った。事故防止に努め、マニュアルを作成し、職員に周知した。無届外出に対応するため簡易センサーチャイムの設置や見守り職員を配置するなどの対応を行った。入所者を地域の高齢者の集まりに毎月参加するよう支援しており、地域との交流が図られている。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	（評価理由） 年度計画に沿って適切に支出された。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 毎月の処遇会議、毎朝のミーティングで情報を共有している。避難訓練等も定期的に実施し、利用者の安全確保に努めている。その他、条例等に従い適切に事業運営が行われた。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 防災設備は委託業者による点検に加え、毎月の自主点検を行い、早期の修繕に努めた。施設の老朽化により施設、設備の大規模修繕が必要な状況となっている。今後も異常箇所の早期発見に努め、適切な施設管理を行う必要がある。				

④総合評価

評価点合計	80.0	評価ランク	A

⑤管理運営に対する全体的な評価

高齢化により対応に手間のかかる入所者や状態が不安定となったときの対応が適切に行われていた。市との連携も的確に行われ、協力体制を保つことができている。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

入所者ニーズの把握や老朽化した施設の異常箇所の早期発見に努め、入所者へ良好な環境を提供できるよう、今後も引き続き事業継続をお願いしたい。

記入要領
・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。
評価ランク区分
S　95.0以上
A　80.0以上95.0未満
B　60.0以上80.0未満
C　60.0未満